

にいかわ信用金庫の環境への取組みについて

【鴨川清掃へのボランティア参加】🌱

地域の環境貢献活動の一環として、魚津市の鴨川清掃に、毎年役職員がボランティア参加しています。

鴨川は、昭和 60 年頃には、ごみが捨てられ、生活排水の垂れ流しで、県内ワースト 3 に入るほどの汚れた川でしたが、昭和 63 年頃に鴨川沿線の町内と鴨川にサケを呼ぶ会が主体となって、清掃活動を行ってきました。「サケを放流して戻ってくるような川に戻そう」と始まった活動ですが、現在ではサケが戻ってくる清流を取り戻しています。



【環境に配慮した通帳ケース、証書ケース、粗品袋】♻️

SDGs (持続可能な開発目標)の一環として脱プラスチック化を進めており、通帳ケース、証書ケース及び成約客に渡す粗品を入れる袋を、ビニール製品から、石灰石等を原料とする LIMEX と植物由来のバイオマス素材とする新素材に変えました。この素材は、石油資源消費と二酸化炭素排出量の削減効果が期待でき、可燃ごみに分別されます。

当金庫もSDGsを宣言しており、脱炭素やフードドライブ等を通じて、職員だけでなく、お客様のSDGs意識の醸成にも注力しています。



【クールビズ・ウォームビズの実施】♻️

夏季のクールビズ、冬季のウォームビズを実施し、室内温度の調節によりCO₂の削減に努めています。

【ペーパーレス化の促進】♻️

- ・ディスクロージャー誌、半期毎のミニディスクロージャー誌、業務報告書、並びに、お客様用の各種商品規定等の電子化
- ・融資稟議システム導入によるペーパーレス化
- ・会議でパソコンを利用し、電子化した会議資料を閲覧